

天塩川下流・留萌川水防連絡協議会
第1回天塩川下流減災対策部会 議事概要

日時：平成28年4月26日（火） 10:30～12:00

会場：幌延深地層研究センター国際交流施設 1F 多目的ホール

構成員：留萌開発建設部長、旭川地方気象台長（欠席）、稚内地方気象台長
留萌振興局長（代理出席）、宗谷総合振興局長（代理出席）、
天塩町長、豊富町長（代理出席）、幌延町長

《議事内容》

- ・ 現状の水害リスク情報や取組状況を共有、減災のために係る目標等についての共有
- ・ 5年間で達成すべき目標および目標達成に向けた2つの取組の確認
- ・ 適時、幹事会を開催して議論のうえ、第2回天塩川下流減災対策部会を開催し、今後5年間を目処に取組方針を策定することを確認
- ・ 毎年、減災対策部会等を開催し、「取組方針」の実施状況等はフォローアップを実施することを確認

《主な意見》

（稚内地方気象台）

- ・ 気象台は災害から人の命を守ることを命題としている。ただし、災害時に行動するのは各関係機関であることを踏まえ、気象台と関係機関との相互の協力をお願いしたい。

（宗谷総合振興局）

- ・ 一昨年の礼文の大雨災害を踏まえ地域住民の安心、安全の構築が地域づくりの要であると考えているので、関係機関と情報共有や防災に関わる取組を進めたい。

（留萌振興局）

- ・ 天塩川流域内において防災、減災、避難対策に関わる情報共有を関係機関と実施していきたい。また、関係機関に対し、避難に関わるアドバイス等を積極的に行いたい。

（留萌建設管理部）

- ・ 留萌建設管理部では天塩川流域において、雄信内川・23号川・ロクシナイ川にて事業に着手しており、今後も推進する。

（天塩町）

- ・ 開発建設部・気象台・振興局から防災情報について直接連絡をもらえる状況は非常

に助かっている。

- ・ 様々な防災情報が入手できるので、それらの情報を基に、いかに住民を守るかが一番の大きな課題である。
- ・ 天塩市街に東日本大震災の規模の津波が起きた場合、天塩町自体が水没してしまう状況にあり、防災はしっかりと取組み、住民の命・地域の産業を守るため、今後とも協力をお願いしたい。
- ・ 市街部を流れるロクシナイ川への津波遡上が懸念されることから、温暖化の影響による海面の上昇が津波にどのように影響するか知りたい。また、必要な対策も検討したい。

(幌延町)

- ・ 天塩町と同様に直接防災情報の連絡が入ることに感謝している。
- ・ ハザードマップを作成し公表しているが、自ら自分の命を守るという体制を作るためには、平常時からの啓蒙活動や防災に関わる情報の提供等が大事。
- ・ 今後とも住民の安心・安全のために、関係機関と連携を図り取組むので協力をいただきたい。

(豊富町)

- ・ 豊富町周辺は低平地が点在しており、ほぼ毎年冠水している所もあるが、酪農家、農家については、これまで災害の教訓を生かしながら対応している。
- ・ 昨年底平地が冠水したが、水の引きが速くなったと実感している。これは天塩川改修の効果と思われる。
- ・ 関係機関の協力をいただきながら、ハザードマップ等を作成し、住民が自ら早く災害リスクを察知する手法の確立が必要と考える。